

第130回日本眼科学会総会

- 日 時** 2026年4月9日(木)～12日(日)
- 場 所** 福岡国際会議場 (〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1)
マリンメッセ福岡 A 館 (〒812-0031 福岡市博多区沖浜町 7-1)
マリンメッセ福岡 B 館 (〒812-0031 福岡市博多区沖浜町 2-1)
- 総会長** 園田康平 (九大)
- 副総会長** 吉富文昭 (福岡県眼科医会)
- プログラム委員長** 平岡孝浩 (筑波大)
- テーマ** 夢見るまなざし
- 主 催** 公益財団法人日本眼科学会
- 主管校** 九州大学大学院医学研究院眼科学分野 (〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1)
事務局長: 村上祐介
- プログラム** 特別講演
1: 大野京子 (東京科学大)
2: 柏木賢治 (山梨大)
代議員会指名講演「小児眼科の進歩」
仁科幸子 (国立成育医療研究センター)
近藤寛之 (産業医大)
福嶋葉子 (大阪大)
招待講演
1: Caroline Klaver (Erasmus Univ. Rotterdam)
2: Andrew D. Dick (UCL and Univ. of Bristol, UK)
シンポジウム
＜総会長枠＞
アジアにおける眼科遠隔医療と公衆衛生 (日中韓眼科ジョイントシンポジウム 1)
アジアにおける国際共同研究のあり方と展望 (日中韓眼科ジョイントシンポジウム 2)
難病の治療が変わる! これからのゲノム科学とプレシジョン医療
チームアジアから発信する眼科新知見!!
＜プログラム委員会枠＞
視機能を考慮した角膜診療
水晶体混濁の分子メカニズム解明とその制御・予防戦略
緑内障の未来を切り開く研究
網膜硝子体疾患に対する硝子体手術のイメージングによる評価と再考
疾患概念の変革を推し進める糖尿病網膜症研究
アレルギー性結膜疾患の診断・病態理解におけるアンメットニーズ
ぶどう膜炎診療の次世代アプローチ: 個別化医療が切り拓く新たな可能性
小児眼科医療の未来を拓く
斜視・弱視診療のパラダイムシフト
視機能を守れ～創薬の探求～
高齢視覚障害の時代に挑む～眼科医が果たすべき使命～
眼循環から病態をミル!
医師の働き方改革 2 年後の検証—医療の質と働き方の両立に向けて
今そこにあるダイバーシティ～多様性を知り広がる眼科の世界～
＜基礎研究セミナー＞
炎症と疾患についての現在の考え方
＜戦略企画会議第四委員会枠＞

<戦略企画会議第五委員会枠>

<社会保険会議シンポジウム>

教育セミナー

臨床研究の基本

眼科感染制御ファクトチェック

眼科診療にMRIは必要だ！

前眼部OCTマスターを目指そう！

先手必勝！眼腫瘍～まず何を考え何をすべきか～

ERGをもっと臨床に役立てよう

徹底解説！乳幼児診察の基本手技と診療ポイント～目の前の赤ちゃん、あなたはどのよう診る？～

遺伝学の最前線～JOS/JSHGジョイントセッション～

日本型バイオイノベーションの進化：産官学の協創戦略

専門医志向者トレーニングコース

International Symposium

<炎症・感染・アレルギー>

Current Topics in Ocular Immunology and Uveitis

<角結膜>

The Cutting Edge of Corneal Research：Bridging Bench and Bedside

サブスペシャリティサンデー

<前眼部疾患>

もっと知ろう！眼瞼炎

多焦点眼内レンズのNow and in the Future

新しい治療でどう変わる？角膜移植術の適応

<緑内障・視神経症>

視神経疾患診断治療の不易流行

緑内障診断の不易流行

緑内障治療の不易流行

<後眼部疾患>

Lamellar macular hole 類緑内障への理解

裂孔性網膜剥離の治療を極める

RVO, DMEの薬物治療の最前線

<小児眼科・眼腫瘍・視機能>

それって本当にその病気？～専門家たちの事件簿～

AIに負けない眼科サブスペシャリティ

ロービジョンケアを再構築する

スキルトランスファー

眼科基礎研究スキルトランスファー～躍進する女性研究者の研究スタイルに学ぶ～

その他

The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists, Young Ophthalmologists Committee

シンポジウム、一般講演、学術展示、専門医制度講習会、オルソケラトロジー講習会、屈折矯正手術講習会、共催セミナー（モーニング、ランチョン、アフタヌーン、イブニング、フェアウェル）、

（一社）日本眼科医療機器協会併設機器展示、市民公開講座「難病と視覚障害」

事前参加登録 2025年10月1日（水）～2026年2月20日（金）

追加参加登録 2026年2月21日（土）～オンデマンド配信（単位取得可能期間）終了まで

※今回の事前参加登録は、オンラインクレジットカード決済またはコンビニ決済でのオンライン登録のみです。郵便振替登録は行いませんのでご注意ください。

学会・研究会 ご案内

詳細は随時ホームページにて公開させていただきます。

ホームページ <https://www.congre.co.jp/130jos/>

運営事務局 株式会社コングレ 九州支社

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-9-17-11F

TEL: 092-718-3531 FAX: 092-716-7143

E-mail: 130jos@congre.co.jp

The 28th IRSJ (2025) 第24回眼科臨床機器研究会 ジョイントセミナー

日時 2025年11月29日(土) 12:30~17:00

場所 横浜シンポジア (〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル9階)

TEL: 045-671-7151

会長 ジョイントセミナー 清水公也 (山王病院アイセンター)

The IRSJ 神谷和孝 (昭和医大保健医療学部)

眼科臨床機器研究会 庄司信行 (北里大)

プログラム The 28th IRSJ (2025) 12:30~13:50

オーガナイザー: 川守田拓志 (北里大医療衛生)

メインテーマ「白内障手術と患者満足度の科学」

モデレーター 神谷和孝, 川守田拓志

「『視える』への期待に応えるための術前検査とコミュニケーション」竹原弘泰 (井上眼科)

「高い満足度を得るための眼内レンズ度数決定」後藤 聡 (大阪大)

「白内障手術と患者満足度の科学—満足度向上のための工夫とアプローチ」飯田嘉彦 (北里大)

第24回眼科臨床機器研究会 14:00~17:00

日本眼科学会専門医認定事業 (12745) 申請中

【講演Ⅰ】「近年の隅角検査機器」モデレーター: 笠原正行 (北里大)

1. 「緑内障手術前後の隅角評価」芝 大介 (慶應大)

2. 「CASIA2 Advance の有用性」上野勇太 (筑波大)

3. 「SOLIX Essential の使用経験」後藤祐一朗 (北里大)

【講演Ⅱ】「画像鮮明化テクノロジー MIEr[®]」モデレーター: 飯田嘉彦

1. 「MIEr[®]の鮮明化: アルゴリズムとその応用」井上宏一 (㈱ロジック・アンド・デザイン)

2. 「画像鮮明化ソフトウェア MIEr[®]を活用した糖尿病網膜症診断」武内 潤 (名大)

3. 「MIEr[®]×Holds-Up Surgery—白内障手術における画像鮮明化」横関祐佳子 (北里大)

【講演Ⅲ】「近視抑制の新時代—新しいアプローチと管理の実践」モデレーター: 平澤一法 (北里大)

1. 「近視進行メカニズムの分子細胞レベルでの解明を目指して」栗原俊英 (慶應大)

2. 「眼科病院における近視進行抑制療法の管理と実践」高橋慎也 (小沢眼科内科病院)

3. 「最新の検査技術を活用した近視管理と実践」松村沙衣子 (東邦大)

主催 北里大学眼科

連絡先 IRSJ・眼科臨床機器研究会ジョイントセミナー事務局

スタッフルームタケムラ (有) 内 (〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-4-7)

TEL: 03-5287-3801 FAX: 03-5287-3802

E-mail: rssympo@staffroom.jp

第183回九州大学眼科研究会

日時 2026年2月21日(土) 13:30 開会予定

場所 九州大学医学部百年講堂大ホール (〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1)

プログラム 特別講演

中澤 徹（東北大）

林 思音（山形大）

一般演題募集 締切：2025 年 12 月 12 日（金）必着

イ）演題名・氏名（連名の場合は演者に○），所属・所在地をご記入ください。

○こちらで準備した PC（プレゼンテーション 1 面）で発表していただきます。

○会場で使用する PC の OS は Windows11 で、データ形式は PowerPoint2007 以降となります。

○講演をされる方は前日までに、ご案内する URL（Proself）にアクセスしスライドをアップロードしてください。

○フォントは OS に標準装備されているものでお願いいたします。

ロ）講演時間：7 分

ハ）申込先

〒 812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学眼科学教室（医局長：塩瀬聡美）

TEL：092-642-5648 FFX：092-642-5663

E-mail：oculus@med.kyushu-u.ac.jp

当研究会は日眼生涯教育事業（1 日 1.5 単位で申請予定）に認定されております。

第 59 回眼科臨床病理組織研究会（第 96 回九州眼科学会内）

日 時 2026 年 5 月 30 日（土）予定

場 所 宮崎市民プラザ（〒 880-0001 宮崎市橘通西 1-1-2）

演題募集 「第 59 回眼科臨床病理組織研究会」は、「第 96 回九州眼科学会」内のセッションとして開催いたします。眼腫瘍など病理組織の関連した演題を多数お寄せください。

なお、参加にあたりましては、九州眼科学会への参加登録が必要となります。

演題登録・参加登録は「第 96 回九州眼科学会」のウェブサイトよりお願いいたします。

演題登録期間 第 96 回九州眼科学会の演題募集の締切日

演題採用決定後、発表症例の標本（HE 染色）を事務局にお送りいただきます。

詳細につきましては、日本眼病理研究会事務局にお問い合わせください。

連絡先 日本眼病理研究会事務局

〒 812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1 九州大学眼科

担当：吉川（yossykp@mac.com）・沖崎（okizaki.fumie.435@m.kyushu-u.ac.jp）

TEL：092-642-5648 FAX：092-642-5663